

緊急フォーラム 概要

【テーマ】 エンテロウイルス D68 感染症：
多発する急性弛緩性麻痺と重症呼吸障害の原因か？

■日時：2015 年 10 月 31 日（土）8：15～8：55（40 分）

■会場：A 会場（ザ・セレクトン福島 3F 安達太良 I・II）

開催趣旨

エンテロウイルス D68 (EVD68) は、米国を中心に、呼吸器感染症や急性弛緩性麻痺の原因として報告されている。平成 27 年 9 月、国立病院機構呉医療センター小児科より、平成 26 年に EVD68 により急性呼吸不全と急性弛緩性麻痺を来した症例が日本小児科学会雑誌に報告された。平成 27 年 10 月、東京都立小児総合医療センターより、平成 27 年 9 月上旬に喘息様下気道症状を呈する患者が多発し、病原体検索がなされた 5 例中 4 例から EVD68 が検出されたことが IASR に報告された。これらの報告を受け、本年 9 月以降、全国各地より原因不明の急性弛緩性麻痺や重症下気道炎症状を呈する症例が多発しているとの情報が寄せられている。EVD68 との関連は未だ確認されていないが、EVD68 による急性弛緩性麻痺と喘息様下気道炎の多発の可能性が高い。そこで、EVD68 感染症の臨床像の情報提供を行うとともに、重症疾患における病原体診断(検体保存)の重要性を強調することを目的として、緊急フォーラム「エンテロウイルス D68 感染症:多発する急性弛緩性麻痺と重症呼吸障害の原因か？」を開催する。

■座長

細矢 光亮（福島県立医科大学 小児科）

■プログラム

講演 1 （発表 10 分）

清水 直樹 先生（東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部）

「EVD68 による重症下気道炎の臨床像」

講演 2 （発表 10 分）

米倉 圭二 先生（呉医療センター 小児科）

「EVD68 による急性弛緩性麻痺の臨床像～当科で経験した一例を踏まえて～」

講演 3 （発表 15 分）

多屋 馨子 先生（国立感染症研究所 感染症疫学センター）

「原因不明の重症疾患多発時の急性期検体確保の重要性
～急性弛緩性麻痺例の経験から～」